

1、2、3、4、5、6、7、8、9 を<sup>した</sup>下のルールでならべかえてください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ①は、⑨を2<sup>ばい</sup>倍<sup>かず</sup>した<sup>した</sup>数<sup>かず</sup>で、2つをたすと12になります。
- ①は<sup>さか</sup>逆<sup>か</sup>さまに<sup>おな</sup>書<sup>かたち</sup>いても同じ形になります。
- ②は①より1だけ<sup>ちい</sup>小さく、⑧は⑨より1だけ<sup>ちい</sup>小さいです。
- ④、⑤、⑥を<sup>すうじ</sup>デジタル数字<sup>じゅん</sup>でこの順<sup>けた</sup>にならべて3桁<sup>かず</sup>の数<sup>かず</sup>にしたとき、<sup>てんたいしょう</sup>点対称<sup>どまわ</sup>（180度回して<sup>かさ</sup>重なる）になります。
- ④+⑤=10、⑤+⑥=7になります。
- ⑦-③=3になります。

8	7	2	9	1	6	5	3	4
---	---	---	---	---	---	---	---	---

・①は、⑨を2倍した数字で、2つをたすと12になります。

・①は逆さまに書いても同じ形になります。

2倍の関係にあるのは1と2、2と4、3と6、4と8で、たして12になる

のは4と8です。逆さまに書いても同じ形になるのは8なので、①は8、

⑨は4となります。

・④、⑤、⑥をデジタル数字で書いた時、⑤の数字を中心に点対称（180度回して重なる）になります。

⑤はデジタル数字で書いた時、自分自身が点対称なので、1か2か5。

また、回転して重なる関係にあるのは6と9です。

・④+⑤=10、⑤+⑥=7になります。

・⑦-③=3 になります。

この2つのヒントから、③、④、⑤、⑥、⑦の位置が決まります。